

フリーマガジン「PEACH LIVE」最新号は、 Peach の地元「泉佐野」特集！

- ・ テーマは「関西のゲートウェイ」
- ・ Peach の地元、泉佐野エリアの魅力を日・英の 2 言語で発信
- ・ ガイドブックとは違う視点で、まだ知られていないリアルな泉佐野を紹介

Peach Aviation 株式会社(以下:Peach、代表取締役 CEO:井上 慎一)は、関西空港を本拠点とする Peach の地元でもある大阪府泉佐野市を特集した、Peach のフリーマガジン「PEACH LIVE vol.15」を本日発行しました。



PEACH LIVE Vol.15を手にする Peach の客室乗務員

これまでは、関西空港に到着した観光客の多くが大阪市内や関西各地の観光スポットを目的地とするケースが多いことから、「泉佐野」は素通りされがちなエリアでしたが、近年は関西空港のインバウンド需要の加速に伴い、訪日外国人の方々を含め、多くの観光客で賑わうエリアへと進化しています。

今回のPEACH LIVEでは「関西のゲートウェイ」をテーマに、漁港が近いからこそ味わえるガッチョ(メゴチ)やワタリガニなどの地元民ご用達の海鮮グルメから、日帰り入浴もできる温泉などふらっと寄りたくなるスポットの数々まで、Peachの主要顧客層である20～30代の女性に響くコンテンツを中心に泉佐野の「今=LIVE」を紹介しています。さらに、地場で育まれた産業や文化、食などを支える人々にもフォーカス。PEACH LIVEの世界観を通して、まだ知られていない泉佐野の魅力を体感いただけます。

Peachでは、これからもPEACH LIVEを通じて、そのエリアの「今=LIVE」を発信し、より多くの人々に様々なエリアを訪れていただけるような取り組みを展開してまいります。どうぞご期待ください。

【参考情報】

<PEACH LIVE～Area Discovery Magazine～とは・・・>

Peachの就航地、またその周辺地域の魅力を伝えるエリアのブランディングブック。2016年7月にVol.1「大阪」号を創刊、本日発刊のVol.15「大阪・泉佐野」号を含め、全15号を発刊。1泊2日の気軽な旅を提案するコーナー“ONE-DAY TRIPPER”をはじめ、グルメ情報からそのエリアのカルチャーまで幅広くフォーカスし、“エリアの今=LIVE”をPEACH LIVEならではの世界観で訴求。今後は、Peach就航地のアジア各国の特集号を展開予定。

<媒体情報>

言語：日英併記

発刊日：隔月 20日(奇数月)

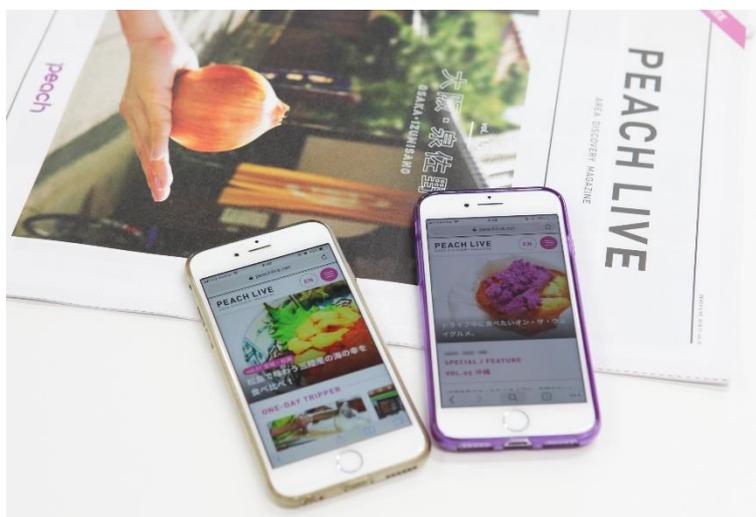
配布場所：Peachの国内線・国際線の全路線において客室乗務員が配布、国内線空港カウンターなど
発行部数：3万部

発行人：井上 慎一(Peach代表取締役 CEO)

編集発行：Peach Aviation 株式会社 コミュニケーション本部

ウェブサイト：PEACH LIVE WEB(<https://peachlive.net/>)

※ウェブサイトでは、Vol.15大阪・泉佐野号を含む、過去の全ての号を閲覧いただけます。



フリーマガジン版とWEB版のPEACH LIVE

<これまでの発行号について>

2016年7月20日	Vol.01	大阪号
2016年9月20日	Vol.02	福岡号
2016年11月20日	Vol.03	宮崎号
2017年1月20日	Vol.04	宮城号
2017年3月20日	Vol.05	沖縄号
2017年5月20日	Vol.06	京都号
2017年7月20日	Vol.07	松島号
2017年9月20日	Vol.08	長崎号

2017年11月20日	Vol.09	山形号
2018年1月20日	Vol.10	新潟号
2018年3月20日	Vol.11	鹿児島号
2018年5月20日	Vol.12	大阪・堺号
2018年7月20日	Vol.13	釧路号
2018年9月20日	Vol.14	台北号
2018年11月20日	Vol.15	大阪・泉佐野号

[Peach](http://www.flypeach.com) について(www.flypeach.com)

Peachは、2012年3月に関西空港を拠点として運航を開始しました。2014年7月には那覇空港、2017年9月には仙台空港を関西空港に次ぐ拠点空港としました。現在、21機の機材で、国内線16路線、国際線15路線に就航し、1日あたり最大100便以上を運航するとともに、13,000人以上のお客様にご利用いただいております。